

の程度の金額になる。繰越金の割合は、普通3%〜5%が理想的だが、村の方は12・3%。非常に大きい。来年平成27年度から交付税が減額され、平成32年には一本算定となり、歳入がかなり減ってくる。またこれから先、大きな事業があるので、無駄を省き、将来に対して残すため。

地方債の組み替えは

〈太田議員〉

地方債が2900万円減額をされ、一般財源で2900万円組んである。過疎債ではなく交付税として組み替える、これは一般財源からだが、あとから返ってくるということか。

〈総務課審議員〉

これは、循環バスにあてる金額。県から、特別交付税でも60%〜70%の交付税措置があるということ、起債残高が上がるよりも特別交付税措置が良いので、今回過疎債2900万円を減額。特別交付税で申し込みにした。ただ、まだ特別交付税の金額が確定していないので、今回は特別交付税のほうの財源の補正は行っていない。

指定管理者は村とも相談を

〈桐原議員〉

白川水源の近くに、村有地があるが、何の説明もなく排土をしていた。地域住民は不安を訴えていた。地域や区長には、十分説明する必要があるのではないか。今後の計画等あるのか、予算も議決はなかったと思うが、説明を。

〈農政課長〉

農業委員会には、株はくすいが水の倉庫を建てるということで、申請が上がっている。現地を確認し許可を出している。転用許可である。

〈桐原議員〉

株はくすいは、このことについて役場に相談はしていない。村が92%程出資していると思うが、村に相談し、地元にも報告しながらやるのが当然ではないか。

〈村長〉

議員も区長も知らないという話で、私も知らない。ただ、その土地の利用については、水事業が増産体制に入っており、保管場所が不足するというので、村の土地を利用して倉庫を計画するのは良いという話でした。しかし造成の相談はまだない。

株はくすいに確認して、区長、議員には説明をするようにしたい。



相談なく排土された村有地

不登校について

〈橋本議員〉

村内中学校で不登校が発生している。1日も早く学校に通える対策を。教育委員会にも聞いたが報告は上がっていないとのこと。遺憾ではないか。

〈教育長〉

専門的な見地から現場の先生達も知恵を絞っている。1日来ないと自宅に電話。2日来ないと自宅訪問。

子どもは多感な一番大事なときだから、事を流して逃げるような態度はとっていない。

図書館について

〈今村議員〉

熊日新聞で、村民の方から図書館の要望が出ていたが、今後どのような考えをもっておられるか。

〈村長〉

図書館が必要なことは十分に感じている。早い時期に設立の検討委員会を立ち上げて検討したい。身の丈にあった図書館を、できるだけ早く整備したい。

その他の質問

〈太田議員〉

- ・ 賃金で税務課事務補助とは
- ・ 防犯灯の設置について

〈山室議員〉

- ・ 景観審議会委員について
- ・ 南阿蘇村の電気自動車は

〈後藤議員〉

- ・ 猶須地区水道について

〈橋本議員〉

- ・ 立野駅ホーム不審火について